

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [25527] HPVジェノタイプ判定

受託開始日

- 平成23年7月25日(月)

HPVジェノタイプ判定

新規保険収載された HPV ジェノタイプ判定を新たに受託開始します。

HPV(ヒトパピローマウイルス)は子宮頸がんを発症する主要な原因とされ、現在までに 100 種類以上のジェノタイプ(遺伝子型)が報告されています。

さらに HPV はがん化のリスクが比較的高いグループ(中高リスク型)とあまり高くないグループ(低リスク型)の二つにグループに大別されます。

本検査は LAMP 法により DNA を増幅し、その増幅産物を電流検出型 DNA チップにより中高リスク型と呼ばれるグループの中で、13 種類の型について各々を同定するものです。

HPV に感染している場合、それが中高リスク型か否かを判定することは臨床上非常に重要であり、子宮頸がんの進展予測や今後の管理に有用な情報をもたらすと考えられます。

※同定可能な型：16,18,31,33,35,39,45,51,52,56,58,59,68

(13 種類の型全てを検査しますが、その中で検出された型のみをご報告致します。)

検査要項

項目コード	25527
検査項目名	HPVジェノタイプ判定*1
検体量	LBC用採取液(ThinPrep) 3.0mL(容器番号:81) ぬぐい液*2(容器番号:57)
保存方法	冷蔵
検査方法	LAMP法/電流検出型DNAチップ
基準値	設定せず
所要日数	5~10日
検査実施料	2000点*3([D004-2]悪性腫瘍組織検査 [1]悪性腫瘍遺伝子検査)
判断料	150点(微生物学的検査判断料)
定価	35,000円
備考	*1:検出可能な型:16,18,31,33,35,39,45,51,52,56,58,59および68型(13種類)。 *2:検体採取後、当社検査室搬入まで7日以上を要する場合は、凍結にて保管しご提出下さい。 *3:保険適用条件 ア. HPVジェノタイプ判定は、区分番号「D004-2」悪性腫瘍組織検査「1」の悪性腫瘍遺伝子検査に準じて算定する。 イ. あらかじめ行われた組織診断の結果、CIN1またはCIN2と判定された患者に対し、治療方針の決定を目的としハイリスク型HPVのそれぞれの有無を確認した場合に算定する。 ウ. 当該検査は、区分番号「D023」微生物核酸同定・定量検査の「6」のHPV核酸同定検査の施設基準を届け出ている保険医療機関において算定できる。 エ. 当該検査を算定するに当たっては、あらかじめ行われた組織診断の結果及び組織診断の実施日、及び当該検査によって選択した治療法を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。 オ. 同一の患者について、当該検査を2回以上行う場合は、当該検査の前回実施日、及び前回選択した治療(その後通常の検診となった場合はその旨)を上記に併せて記載する。

参考文献

北原公明, 他: 医療と検査機器・試薬, 34, 117~122, 2011.